

# 事 務 事 業 評 価

平成 25 年度

|  |  | 担当課  | 環境課                  |        |            |        |         |                           |
|--|--|--|----------------------|--------|------------|--------|---------|---------------------------|
| 基本事項   | 事務事業名  | ごみ減量・リサイクル推進事業   |                      |        |            |        | 整理番号    | 0901                      |
|  | 根拠法令等  | 島原市ごみ再資源化推進報奨金交付要綱<br>島原市資源回収業者補助金交付要綱                 |                      |        | 実施を義務付ける規定 |        | ○あり ●なし |                           |
|  | 関連する市勢振興計画の基本計画                              | 章  | 第4章 安全・安心と安らぎの環境を整える | 予算科目   | 4:款        | 2:項    | 2:目     | ●継続 ○新規                   |
|  |  | 節  | 第2節 リサイクル環境の整備       | 事業区分   | 助成・育成      |        |         |                           |
| 事業の目的・実施状況等  | 事業の背景<br>(課題、市民の要望等)                         | 循環型社会形成の推進   |                      |        |            |        | 計画期間    | 始期 昭和 57 年から<br>終期 平成 年まで |
|  | 事業の対象<br>(誰に・何に対して)<br>目的<br>(どのような状態にしたいのか) | 限りある資源を有効に活用するため、ごみの減量化及び資源化に取り組み、リサイクルの進んだ循環型社会を形成する。 |                      |        |            |        |         |                           |
|  | 目的達成のための<br>具体的手段・方法                         | 町内会・自治会、婦人会、子供会の協力により資源ごみを回収し、ごみの減量化及び資源化を図る。          |                      |        |            |        |         |                           |
|  | 成果指標<br>(目的達成度を図るものさし)                       | 名 称 等 ( 内 容 )  |                      | 単位     | 23 年度      | 24 年度  | 25 年度   |                           |
|  |  | ① 集団回収量<br>一般廃棄物処理基本計画に基づき、平成37年度の目標値を1,490t/年とする。     | 目標                   | t      | 1,106      | 1,141  | 1,174   |                           |
|  |  |  | 実績                   | t      | 1,012      | 970    |         |                           |
| 達成率  |  |  | %                    | 91.5   | 85.0       | 0.0    |         |                           |
| ② ごみ総排出量<br>一般廃棄物処理基本計画に基づき、平成37年度の目標値を14,188t/年とする。 |  | 目標   | t                    | 19,747 | 19,072     | 18,409 |         |                           |
|  |  | 実績   | t                    | 20,653 | 20,683     |        |         |                           |
|  | 達成率  | %  | 104.6                | 108.4  | 0.0        |        |         |                           |
| 活動指標<br>(目的達成のために<br>行った活動実績)                        | ① 町内会・自治会、婦人会、子供会による資源ごみ回収活動回数               | 目標   | 回                    |        |            |        |         |                           |
|  |  | 実績   | 回                    | 422    | 414        |        |         |                           |
|  | ②  | 目標   |                      |        |            |        |         |                           |
|  | 実績   |  |                      |        |            |        |         |                           |
| 事業費等の推移  | 年度   |  | 21 年度                | 22 年度  | 23 年度      | 24 年度  | 25 年度   | 26 年度                     |
|  | 区分   |  | 実績値                  | 実績値    | 実績値        | 実績値    | 予算      | 計画                        |
|  | ① 直接事業費(千円)                                  |  | 8,156                | 7,746  | 7,535      | 7,581  | 7,528   | 7,500                     |
|  | 財源内訳   | 国 県 支 出 金  |                      |        |            |        |         |                           |
|  |  | 地 方 債  |                      |        |            |        |         |                           |
|  |  | そ の 他  |                      |        |            |        |         |                           |
|  |  | 一 般 財 源  | 8,156                | 7,746  | 7,535      | 7,581  | 7,528   | 7,500                     |
|  | ② 従事職員給与費<br>b1 x b2                         |  | 2,149                | 2,150  | 2,171      | 2,183  | 2,164   | 0                         |
|  | 従事職員数(人)<br>b1                               |  | 0.30                 | 0.30   | 0.30       | 0.30   | 0.30    | 0.30                      |
|  | 職員平均人件費<br>b2                                |  | 7,162                | 7,168  | 7,236      | 7,277  | 7,213   |                           |
| 事業費合計<br>① + ②                                       |  | 10,305   | 9,896                | 9,706  | 9,764      | 9,692  | 7,500   |                           |

【1次評価】

| 事務事業の評価項目と評価の視点 |   | 評価内容（判断理由、課題等）   |  |
|-----------------|---|--|--|
| 必要性             | ①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか  | A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている<br>ごみの減量化及び資源化の推進に大いに役立っている。  | 判定<br>A                                |
|                 | ②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか  | A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能<br>町内会、自治会、婦人会、子供会等の資源物回収や、業者の処理に対して市が補助金や報奨金として交付している。     | A                                      |
|                 | ③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか                               | A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要<br>資源物の回収を行う団体やその資源物を引き取る業者を対象にしている。                                   | A                                      |
| 有効性             | ④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか<br>(成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)       | A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない<br>概ね達成されている。   | A                                      |
|                 | ⑤事業効果をさらにあげる余地はないか  | A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある<br>ごみの減量化、再資源化を図るため、古紙類を平成24年10月から資源ごみの収集品目に追加した。           | A                                      |
| 効率性             | ⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか<br>(活動指標と連動させること A=達成 B=一部未達成 C=未達成)               | A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要<br>報奨金、補助金の制度により年間約1,000トンのごみの資源化が図られている。額の変更については、関係団体等との協議が必要となる。 | B                                      |
|                 | ⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか   | A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある<br>類似する事業はない。   | A                                      |
|                 | ⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか  | A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある<br>特になし。  | A                                      |
| 公平性             | ⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか<br>全体コストから見て受益者の負担割合は適切か<br>使用料等の見直しの余地はないか             | A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要<br>特になし。  | A                                      |
|                 | ⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか<br>A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 |  | A                                      |
|                 |   |  | 判定評価平均（3点満点）<br>A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算 |
|                 |   |  | 2.90                                   |

◎ 総合自己評価（所管部署）

|   |  |      |   |
|---|--|------|---|
| 評価結果  | <input type="radio"/> A 継続実施（特段の見直しは行わない）<br><input type="radio"/> B 改善・見直しを行う<br><input type="radio"/> B1 事業規模の拡充<br><input type="radio"/> B2 事業規模の縮小<br><input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し<br><input type="radio"/> B4 その他の見直し<br><input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更）<br><input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む） | 判断理由 | ごみの減量化及び再資源化の推進を図るうえで必要な事業であり、関係団体等と連携し、継続する。                   |
|   | 今後の課題及び改善策、見直しの状況  |      | (実施上の課題等) 少子、高齢化に伴い関係団体等の活動の低下がみられるため、事業の方法等について関係団体等の協議が必要になる。 |
| <small>総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。<br/>         ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</small> |  |      |   |

【2次評価】

|      |   |
|------|---|
| 総合判定 | B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善                                       |
| 備考   | 資源ごみとしての回収品目に古着等の衣類を新たに加えるなど、一般可燃ごみのさらなる減量化を進めるための方策を検討すべき。 |

【3次評価】

|      |  |
|------|--|
| 総合判定 | B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し  |
| 備考   | ゴミ回収事業者への補助金は次年度中に結論を出すとともに、事業のあり方については2年後を目処に関係者間で検討することを求める。 |

| 評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況                                |   |            |
|---|---|------------|
| ① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し) | ③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加          | ↓ 予算措置額の増減 |
| ② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減           | ④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充) | △940(千円)   |